



結果報告書は  
こちらへ

# なぜ難しい？ 都営住宅 入居のリアル

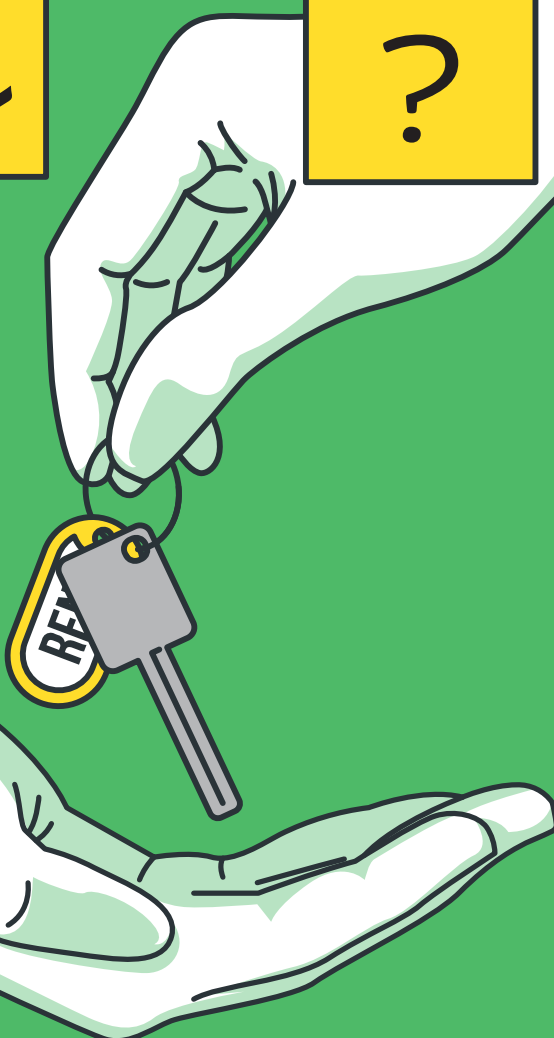
日本共産党都議団が、住宅運動に取り組むみなさん、民間シンクタンク、研究者の協力を得て行った都営住宅申込者の実態調査アンケートの結果報告学習会です。

## 報告者

尾崎あや子 都議会議員 [北多摩第一]  
原田あきら 都議会議員 [杉並区]  
市村 昌利 NPO 法人建設政策研究所専務理事  
佐藤 和宏 高崎経済大学 准教授

## プログラム

開会あいさつ  
報告者発言  
会場発言  
メッセージ紹介  
閉会あいさつ



## 要申し込み

参加希望の方は  
こちらからお申し込みください！



主催：日本共産党東京都議会議員団  
(03-5320-7270)

生活  
できる  
東京  
公共を取り戻す

JCP TOKYO  
TODAY  
共産党都議団

7.19 [日曜日] 15:00-17:00 (170名)  
全理連ビル会議室

JR 山手線・総武線  
「代々木駅」北口駅前 徒歩1分  
都営地下鉄大江戸線  
「代々木駅」A3 出口正面 徒歩1分

# ありそうでなかった!

都営住宅申込者のリアルと

入居を困難にする

「からくり」に迫った

初の実態調査

東京都は2026年度も都営住宅の新規建設の予定はなく、新規建設ゼロは27年目となります。「東京都住宅マスタープラン」(2022年)では、「2030年度までに17万1千戸の都営住宅を供給(10年間)」とし、これを既存の空き住戸の運用で対応するとしています。

しかし都営住宅の入居は、1年間で約8千数百戸の募集に対し、のべ約10万人の申込があるというのが実態です。

そこで私たちは、都営住宅の入居を希望する都民の実態調査を行い、その現実から出発して、新規建設の必要性を明らかにしたいと考えました。東京都はこうした調査・分析を行っています。

このほど、多くの方にご協力いただいた調査結果を報告する準備が整いました。当日は、都営住宅と東京の住まいの未来について、みなさんと一緒に考え、語りあえる機会となれば幸いです。ぜひ会場に足をお運びください。



2026年6月 日本共産党東京都議会議員団

## 報告テーマ／報告者プロフィール

### 都営住宅申込者実態調査アンケートのねらい

原田あきら  
都議会議員 (杉並区選出)

都市整備委員会委員。都市計画審議会委員。東京学芸大学障害児教育学科卒。江東区、杉並区、練馬区で小学校非常勤勤務。2003年から杉並区議(4期)、2017年から都議(3期)



### 都営住宅申込者のリアル—調査に寄せられた声から

尾崎あや子  
都議会議員 (北多摩第一選出)

都市整備委員会理事。千葉商科大学卒。私立潤徳女子高校非常勤講師。新宿民主商工会、全国商工団体連合会、東京商工団体連合会などに勤める。2013年から都議(4期)



### 都営住宅申込者実態調査アンケート結果の概要

市村昌利  
NPO 法人建設政策研究所専務理事

博士(経済学)。建設現場従事者に関する各種調査に関わり、研究員を経て現職。



### 都営住宅申込者実態調査の総括と展望

佐藤和宏  
高崎経済大学地域政策学部准教授

東京大学人文社会系研究科修了、博士(社会学)。日本学術振興会特別研究員(DC1)、東京大学社会科学研究所特任研究員などを経て、現職

